

# 『新たな暖地型牧草(草種:パンゴラグラス(品種:トランスバーラ))の 特性把握と栽培マニュアル作成』 =鹿児島県=

## 【全体概要】

徳之島では、主要草種であるローズグラスの病気発生が顕著となっており、代替の暖地型牧草への転換が急務となっている中、経年劣化しにくく、収量性・栄養価が高く、牛の嗜好性もよいとされる「パンゴラグラス」が有望草種であることがわかってきた。本草種は、種子繁殖ではなく、栄養繁殖で増殖させる必要があり、農家への普及には、栽培技術の確立が必要であることから、実証栽培や検討会を通じ、「トランスバーラ」の特性把握と栽培マニュアル作成を行い、普及拡大を図っていく。

## 品新種・新技術等の概要

### ＜新品種の概要＞

草種名 : パンゴラグラス

品種名 : トランスバーラ

### ○特性等

- ① 種子繁殖ではなく、**栄養繁殖(茎さし)**
- ② 細茎の芝型で**嗜好性が良く**、緻密な草地を**永続的に形成**

- ③ 褐点病が発生している**ローズグラス(カタンボラ)**に**替わる草種**として期待

### ＜新技術の概要＞

- ① トランスバーラの定着(栽培技術確立)
- ② 定着までの収量確保技術の検討

## 主な取組内容

### ○新品種・新技術等の特性把握

- ・実証ほ場において、草地造成方法(栽培)を実証。
- ・定着までの収量確保手法(混播栽培)の検討。
- ・栽培・利用等に関する実態調査(アンケート)と栄養分析。
- ・外部講師を招いた研修会(意見交換)と情報収集の実施。

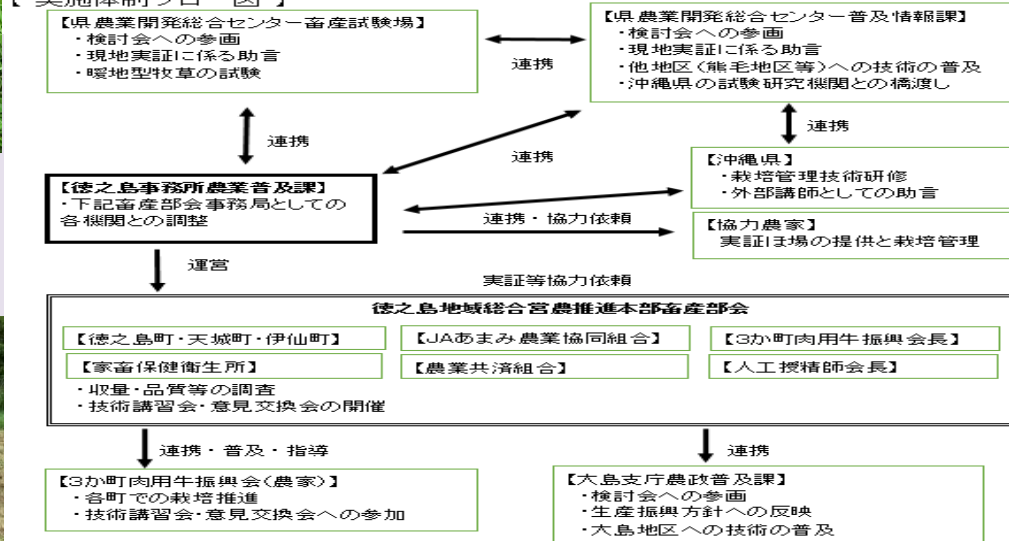
### ○新品種・新技術の普及等に関する手引きの作成準備

- ・実証ほ及び農家実態調査等に基づく手引書のデータ収集と技術の整理。



## 実施体制図

### 【実施体制フロー図】



## 課題と今後の対応

### ○1年目の取組(実績)

- ・**ローズグラス(カリーデ)**との**混播**により、収量確保実証ができた。1年目の被覆度は50%以下である。
- ・アンケート調査等で**栽培ポイントの整理**ができた。
- ・徳之島での栽培における収量・栄養評価ができつつある。

### ○2年目の取組(計画)

- ・トランスバーラ定着確認(被覆度調査)
- ・収穫時の機械による耐踏圧性の確認
- ・栽培・利用に関する徳之島版の手引書の作成